
幻奏学園

翡翠 煉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幻奏学園

【Nコード】

N2685R

【作者名】

翡翠 煉

【あらすじ】

普通じゃない学園 幻奏学園。

これは、その中等部一年三組を描いた物語である。

第一話 普通じゃない日常（前書き）

ついに第一話始まります！

第一話 普通じゃない日常

蘭「私もついに中学生ね・・・」

私の名前は藍月蘭（あおづきらん）

私は異人である。

なぜなら・・・私は幼稚園のころから剣道をしていて、いつの間にかソニックブームを放てるようになったからだ。

先生「はいはい、こんにちはー。私はこの中等部1年3組の担任の朝雛紅伊奈（あさひなくいな）です。皆さん、3年間よろしくおねがいしますー」

紅伊奈先生か・・・あの先生が担任とは・・・すごいところに入ったな・・・

彼女は、この学園きつての最強の先生である。

担当教科はほぼすべて。地理と音楽、美術の3教科以外のすべてを受け持っている。

さすがに一人では担当しきれないからといって、自分を元とした人型ロボットを創ったからさらに驚きである。

こんな最強の先生が担任でびっくりしたが、すぐによかったとおもえた。

幼馴染は全員違うクラスだが、このクラスでもうまくやっていけると思った。

しかし、私はうかつだった。

この先起こる、普通じゃない日常など、私は思いもしなかった。

続く

世界観についての説明

時間は数年後の日本の太平洋の埋立地区。（東京湾で、本州に近い位置にある。水中トンネルでつながっている）

ある国が滅び、犯罪者がさまざまな国へ行き、世界は混乱。

それをきっかけにファンタジーな種族も現れた。

しかし、ある大御所のお笑い芸人が、『仲良くすればいいじゃないか』といった放送が世界へ配信。それを期に、世界は協力体制に入る。

そして、仲良くする、アジア条約を言った日本をメインにひとつの世界の交流のために作られた学園。

それが幻奏学園である。

第一話 普通じゃない日常(後書き)

キャラ紹介は、後日紹介します。

第二話 ルームメイトは・・・これ以上は言わない（前書き）

異人とはちょっと違うときずいた。

ちよつとした変人・・・？

いや、これもちがうな・・・

いい言い方考えなきゃな・・・

あ！ 前は主人公視点でしたが今回からはナレーター視点です

第二話 ルームメイトは・・・これ以上は言わない

やっと今日が終わった。

蘭はそう思っただろう。

しかし、今日は中学生初めての中学生。

なにがいたいかというところ、引越しである。

普通は春休みごろに寮を移るのだが、この学校ではなぜか始業式の日に移動する。

彼女はそれを知っている。そこまで何か起きないと思ったからである。

7

しかしそれは間違い。かなりめんどうなことになるんですよ・・・

蘭「ここが私の部屋・・・なんで3階まで上らなきゃいけなかったのかしら・・・」

ちなみに中学生一年の寮は3階建て。

運とはいえコレはおかしいと思える。

・・・あ、今のは忘れて欲しい。

蘭「さつさとはいつて休もう・・・」

そのなかにいたのは・・・

???「あ・・・」

吸血鬼であった・・・

第二話 ルームメイトは・・・これ以上は言わない(後書き)

なんだろうな・・・

下手すぎる・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2685r/>

幻奏学園

2011年10月8日13時45分発行